

令和7年度

予算

令和7年度予算が、村議会の審議を経て、3月17日に決定しました。

令和7年度の村政運営にあたっては、「第5次明日香村総合計画」に掲げた将来像「『いつまでも住み続けたい』そう思える夢ある村」「五感で体感できる『明日香まるごと博物館』」の実現に向けて、慎重かつ大胆に取り組みを進めてまいります。

その中で、個々の地域課題に優先順位をつけながらも、一つ一つ村民目線に立って解決していくとともに、中長期的な視点に立ち、国・県・民間事業者等との連携を深めながら、効果効率的な財政運営を進め、将来負担の軽減にも努めてまいりたいと考えています。

● 一般会計・特別会計・事業会計予算案総括表

(単位：千円、%)

		令和7年度予算案	令和6年度当初予算額	比較		
				増減額	増減率	
一般会計		4,941,000	4,704,000	237,000	5.0	
特別 会 計	整備基金特別会計	39,290	39,730	△ 440	△ 1.1	
	高松塚壁画館受託事業特別会計	—	7,750	皆減	皆減	
	国民健康 保険 特別会計	事業勘定	756,880	780,000	△ 23,120	△ 3.0
		診療施設勘定	11,760	13,260	△ 1,500	△ 11.3
	後期高齢者医療特別会計	156,610	147,830	8,780	5.9	
	介護保険 特別会計	保険事業勘定	660,450	685,680	△ 25,230	△ 3.7
		介護サービス 事業勘定	2,410	5,480	△ 3,070	△ 56.0
	飲料水供給施設事業特別会計	26,000	20,280	5,720	28.2	
	公有地等住宅開発事業特別会計	15,210	14,970	240	1.6	
	計	1,668,610	1,714,980	△ 46,370	△ 2.7	
水道事業会計		—	351,980	皆減	皆減	
下水道事業会計		435,020	443,770	△ 8,750	△ 2.0	
総計		7,044,630	7,214,730	△ 170,100	△ 2.4	

※7年度予算の概要については、村HPをご覧ください。



「飛鳥ハーフマラソン」ニュース ASUKA HALF MARATHON NEWS



「飛鳥ハーフマラソン2025」を開催しました

明日香村を2,869名が駆け抜けました！ご協力ありがとうございました！

3月9日(日)、4回目となる「飛鳥ハーフマラソン」を無事に開催することができました。

当日出走者数は2,869名、完走者数2,829名で完走率は98.6%！皆さまに応援をいただき、今大会も完走率の高いマラソン大会となりました。交通規制の面では大変ご迷惑をおかけしましたが、ランナーからは「地元の方々の応援がうれしかった！」など、今年もご好評をいただきました。ご理解ご協力ありがとうございました。



▲スタート直後（キトラ古墳前）



▲歴史を感じながら（橘寺）



▲応援を受けて力強い走りを！



▲自然風景を楽しみながら

メイン会場では、レース後も明日香村を堪能していただくために「飛鳥ハーフマラソンフェスタ」を開催しました。

閉会式やトークショーのほか、飲食・物販ブースや体験ブース等、多くの方にご来場いただき、明日香村を満喫していただきました。



▲表彰メンバーで記念撮影



▲飲食・物販ブース

4/1

令和7年度 明日香村消防団 本部役員の新体制

次の新体制で村民・来訪者等の安全・安心にご尽力いただきます。

役職等	氏名(大字)
団長	米田 昌義(小山)
副団長	小西 章裕(岡)
副団長	石田 裕彦(上平田)
第1分団長	松本 佳孝(島庄)
第2分団長	服部 孝男(越)
第3分団長	吉川 康文(飛鳥)
女性分団長	安達 昭子(檜前緑台)

[敬称略]



▲(左から)米田新団長、森川村長

2/10

令和6年度「ふるさとづくり 大賞」団体表彰受賞

「ふるさとづくり大賞」は、全国各地で、それぞれの心を寄せる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することで、ふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的として総務省が実施しています。

このたび、(一社)大和飛鳥ニューツーリズムが民家ステイによる体験型教育旅行の推進を評価され、令和6年度「ふるさとづくり大賞」団体表彰を受賞しました。

令和6年度ふるさとづくり大賞表彰



▲右:(一社)大和飛鳥ニューツーリズム

3/17

「飛鳥ミライズ」第1回カンファレンス

(一社)飛鳥観光協会の会員有志メンバーが中心となり、私たちの故郷を持続可能なものにするため、観光ビジネスを通して自分たちにできることを考える勉強会「飛鳥ミライズ」が発足されました。

第1回カンファレンスでは、明日香村の現状と課題や、世界の農村観光の潮流を知るための基調講演、新たな観光と農業の関わりについてのピッチイベント、事業者間での交流を目的としたワークショップなどが行われ、多くの事業者や村民の方々にご参加いただきました。



▲「飛鳥ミライズ」発起人によるメッセージ発表

3/26 飛鳥地域（日本語）プロガイド認定式

明日香村・橿原市・高取町では、大阪・関西万博や「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録による国内外からの来訪者増加を見据え、地域の価値や魅力を分かりやすく伝えるとともに、安心・安全な滞在を提供する旅先案内人「＝プロガイド」の人材育成事業に取り組んでいます。

令和4年度から実施している「飛鳥地域（日本語）プロガイド養成研修」では、全国からの応募者84名から選定した20名が現地研修やモニターツアーなどを実施し、昨年度は5名が第1期生として認定されています。

このたび2期目の研修課程が修了し、審査を通過した候補生5名が新たに第2期生として認定され、認定式において、認定証・認定バッジが授与されました。今後の活躍が期待されます。



▲(上段左から) 奈良県観光戦略課課長補佐、明日香村副村長、高取町副町長(当時)、橿原市観光政策課長
(下段) プロガイド認定者



ASUKA
PROGUIDE

認定者（第2期生）
岡本氏、高井氏、田中氏、
平井氏、山崎氏

◀ 「飛鳥地域(日本語)プロガイド」
ロゴ

G I G A K Uプロジェクト

「伎楽（ぎがく）」は、612年、推古天皇の時代に百済の渡来人・味摩之によって日本にもたらされたとされています。楽器の伴奏にあわせ、台詞を用いずに仮面をつけて演じられるこの無言劇は、仏教の教えを人々に伝えるため、寺院の境内などで舞われてきました。

1400年の時を経た今、私たちは単なる再現にとどまらず、現代の感性とテクノロジーを融合させた新たな「G I G A K U」の創造に挑戦しています。

本プロジェクトでは、アーティスティック・ディレクターとして、世界的に活躍する演出家・ダンサーの森山開次氏を迎えています。4月1日から3日にかけては、さまざまな立場の専門家や関係者が集い、伎楽面の制作や衣装デザインの方角性について熱量のこもった議論が行われました。

今年9月には、村内での「行道（ぎょうどう）」の開催を予定しています。仮面をつけた演者たちと楽隊が村の風景を練り歩き、かつてない幻想的な時間をつくり出します。

来年には、村内での公演を目指し、「G I G A K U」という伝統の未来を切り拓いていきます。

今後の情報については、広報あすかで発信します。

3/25 畿央大学と相互連携協定を締結

「明日香村と畿央大学との相互連携に関する協定」を締結しました。

協定では、それぞれの人材や地域資源等を活用し、村内の地域活性化および畿央大学の人材育成の促進を目的としています。

【主な連携事項】

- 空き家や古民家等の新たな活用方法やリノベーションの提案
- 地域住民とのまちづくりに関する意見交換
- 地域の伝統行事等の調査および参加



▲（右から）冬木学長、森川村長

4/1 大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結

大塚製薬株式会社と、官民一体で村民の健康維持・増進を目的とした包括連携協定を締結しました。

近年の異常気象により猛暑日が増加し、熱中症のリスクが高まる中、熱中症対策に関する普及・啓発、広報の拡充など、様々な健康課題について取り組みを進めてまいります。



▲（右から）飯間様、森川村長

4/10 奈良トヨタ株式会社と災害時の電力供給協定を締結

「災害時の避難所等における外部給電可能な車両からの電力供給に関する協定」を締結しました。

協定では、発災時に奈良トヨタ所有の車両による避難所等での電力供給のほか、村の防災訓練などで“備え”の意識啓発や環境に優しい車両の普及促進を目的としています。



▲（右から）菊池代表取締役社長、森川村長

3/20 第28回 明日香村まると博物館フォーラム

有楽町読売ホール(東京都)で開催したフォーラムに、550名の方にご来場いただきました。

【テーマ】「聖徳太子と飛鳥」

【主催】 読売新聞社・明日香村

【共催】 (公財) 古都飛鳥保存財団

【発掘報告】 「明日香村内の最新発掘調査報告」
明日香村文化財課係長 長谷川 透

【講演1】 「考古学からみた聖徳太子と飛鳥」
帝塚山大学教授 清水 昭博 氏

【講演2】 「『飛鳥』を描くということ」

作家 澤田 瞳子 氏

【パネルディスカッション】 「聖徳太子と飛鳥」

・パネリスト：清水氏、澤田氏、明日香村文化財課長 小池 香津江

・コーディネーター：読売新聞榎原支局長 関口 和哉 氏



▲550名の方に来場いただきました



▲(左から)講演する澤田氏、清水氏



▲パネルディスカッション

3/30 発掘調査報告会2024

明日香村中央公民館において発掘調査2024を開催しました。

【調査報告】

「甘樫丘遺跡群の調査」

明日香村文化財課係長 長谷川 透

- ・多くの柱穴と大型の井戸が検出され、内部から木簡が出土したことを報告しました。

【世界遺産報告】

「世界遺産登録への歩み」

明日香村文化財課長 小池 香津江

- ・これまでの経緯や構成資産が果たす役割について解説しました。

【記念講演】

「考古資料から考える蘇我氏—

甘樫丘の遺跡を中心に—」

関西大学教授 井上 主税 氏

- ・甘樫丘と関連させながら、蘇我氏による土地利用についてご講演いただきました。

ご来場いただいた220名の方々は、熱心に発表者の話に耳を傾けていました。



▲甘樫丘遺跡群で検出された井戸



▲井上氏による講演

4月1日から明日香村役場の課名が変わりました

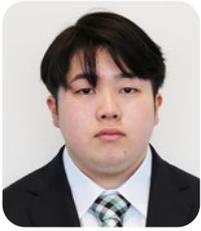
(課の新設)	新 課 名	
		世界遺産戦略課

(課名の変更)	新 課 名	←	旧 課 名
	くらし窓口課		住民課
	健康こども福祉課		健康づくり課
	明日香産業課		観光農林推進課
	教育推進課		教育課

4月1日付 明日香村職員の人事異動

氏 名	新 所 属	旧 所 属
小池香津江	参事兼文化財課長事務取扱	文化財課長
穴瀬通孝	地域づくり課長兼奈良県広域水道企業団明日香事務所長	地域づくり課長
木治準宝	世界遺産戦略課長	総合政策課長
藪田佳典	総務財政課主幹	総務財政課課長補佐
藤裏勝隆	総合政策課主幹兼建築室長	総合政策課課長補佐兼建築室長
北村旭	文化財課課長補佐	総合政策課課長補佐
福井一仁	総合政策課課長補佐	文化財課長補佐
福井良次	総合政策課課長補佐	総合政策課係長
西辻充規	明日香産業課課長補佐	観光農林推進課係長
植本和美	奈良県広域水道企業団派遣	地域づくり課係長
中村謹吾	くらし窓口課係長	地域づくり課係長
日下真純	世界遺産戦略課係長	総務財政課係長議会事務局兼務
河合良	社会福祉法人明日香村社会福祉協議会	健康づくり課係長
冲野裕大	教育推進課係長	教育課
辻陽平	明日香産業課係長	健康づくり課
萩原由紀子	健康こども福祉課係長	健康づくり課
涌田拓幸	くらし窓口課	住民課係長
森西葵	総務財政課議会事務局兼務	総務財政課
森本優樹	奈良県広域水道企業団派遣	地域づくり課
榎本健太	世界遺産戦略課	教育課
乾真穂	世界遺産戦略課	総合政策課
上田裕基	地域づくり課	住民課
奥村玲奈	奈良県行政実務研修員	住民課
福井正浩	明日香産業課 (暫定再任用)	観光農林推進課
山本英樹	健康こども福祉課 (暫定再任用)	地域づくり課
西川朋子	教育推進課 (暫定再任用)	教育課
山本拓海	くらし窓口課	新規採用職員 (1月1日付)
浅川司	地域づくり課	新規採用職員
岡崎宝奈	教育推進課	新規採用職員
岡野美冴	健康こども福祉課	新規採用職員
西田早弥華	世界遺産戦略課	新規採用職員
福田晴心	健康こども福祉課	新規採用職員
光安アスカ	総合政策課	新規採用職員
渡邊充貴	総務財政課	新規採用職員

新規採用者の紹介



地域づくり課 浅川 司

4月より地域づくり課で働かせていただくことになりました。

私は高卒なので経験値はありません。なのでびしびし鍛えてもらいたいと思っています。高校生活で学んだことを最大限に活かしていち早く村民の方々の役に立ちたいと思います。



教育推進課 岡崎 宝奈

4月より教育推進課で働かせていただくことになりました。

小さい頃から大好きな「自然」や「歴史」が溢れた明日香村で働けることを大変嬉しく思います。高校生活で得た、環境についての知識や積極性を活かし、笑顔で元気に、真摯に努めていきます。未熟ではありますが、皆さまのお役に立てるよう精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。



健康こども福祉課 岡野 美芽

4月より健康こども福祉課で働かせていただくことになりました。

自然が豊かで歴史ある明日香村で働かせていただけることを嬉しく思います。皆さまのお役にたてるよう、地域に貢献していけるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



世界遺産戦略課 西田 早弥華

4月より世界遺産戦略課で働かせていただくことになりました。

大学・大学院では共に、文化財の保存と活用等を目的とした、文化財保存科学調査を行っていました。歴史溢れる明日香村で働けることを光栄に思っています。未熟者ですが、村民の皆さまのお役に立てるよう尽力いたします。何卒よろしくお願いいたします。



健康こども福祉課 福田 晴心

4月より健康こども福祉課で働かせていただくことになりました。

出身は九州になりますが、観光で訪れて心惹かれた明日香村に務めることができたことにうれしく思います。自然豊かなこの村でいち早く住民の方々へのより良い生活地域づくり、地域生活サポートが行えるよう尽力し精進します。どうぞよろしくお願いいたします。



総合政策課 光安 アスカ

4月より総合政策課で働かせていただくことになりました。

私の名前は「明日香村のように愛される人になってほしい」という思いから名付けられたそうです。また幼い頃から慣れ親しんだ地でもあるため、そんな村で働けることを大変嬉しく思っております。

未熟者ではありますが、皆さまのお役に立てるよう精進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



暮らし窓口課 山本 拓海

1月より暮らし窓口課で働かせていただいております。

前職では施工管理、営業業務に従事しておりました。また、学生の頃は、考古学を専攻し明日香村の遺跡発掘にも携わっておりました。生まれ育った素晴らしい明日香村で働けることに大変嬉しく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



総務財政課 渡邊 充貴

4月より総務財政課で働かせていただくことになりました。

明日香村には何度もサイクリングで訪れて、四季折々の景観の美しさに触れて参りました。自然や農産物が豊かなこの地で働けることをとても嬉しく思っております。前職では小学校教諭をしておりました。これまで学んだことを生かしつつ、新たな気持ちで、明日香村を支えるために一生懸命従事したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。